

## 26 ミヤコドリ

(チドリ目)

兵庫県ランク: C

*Haematopus ostralegus*

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

### 種の概要

北ヨーロッパ沿岸から中央アジア、中国北東部、ウズリー、オホーツク海沿岸、カムチャツカなどで繁殖し、繁殖後はアフリカ、アラビア、南アジア、中国南部、日本などの海岸に渡り、越冬する。日本では、春秋の渡りの時期に各地に渡来する他、本州と九州では越冬する。干潟、河口、砂浜などに生息し、貝類を好む他、カニ類やゴカイ類、昆虫類も採食する。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

### 国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、四国、九州、対馬、五島列島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

### 県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、★姫路市、★西宮市、芦屋市、加古川市、★高砂市

### 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
	○	○				○	○		○

### 県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクからCランクへ変更。

県内では主に1月と9月に記録がある。瀬戸内海沿岸では極めて稀に単独個体が記録されるが、日本海側では確認されていない。近年、やや観察情報が増えているが、個体数、生息地ともに極めて限られるため、Cランクに変更した。

### 保護上の留意点

干潟や河口などの自然環境の保全および再生が必要。